

ToRA-SEED 第2回チャレンジファンド公募要領

1. 医学系研究支援プログラムおよび ToRA-SEED について

医学系研究支援プログラムは、日本医療研究開発機構（AMED）の基金事業であり、医学系若手研究者の育成と研究環境整備を一体的に推進することを目的としています。特に、将来の医学研究を担う次世代研究者が自立して研究を展開できるよう、研究専念時間の確保やメンター制度、キャリア形成支援を行うとともに、研究支援人材の充実や研究 DX の推進を通じて、大学全体の研究力基盤を持続的に強化する枠組みです。

一方、[関東三大学医学研究次世代育成プロジェクト](#)（略称：ToRA-SEED）は、本プログラムに採択された筑波大学、千葉大学、群馬大学（3大学）が連携して実施する3大学共同事業であり、3大学の人的・研究資源を結集して医学系研究力の底上げを図る取組です。若手・次世代研究者の育成と自立支援を中核に据え、3大学横断型の連携体制のもとで研究支援機能を強化し、持続的に研究力を高める全国的なロールモデルの構築を目指しています。

2. チャレンジファンドの目的

本チャレンジファンドは、次々世代 PI の発掘・育成を目的とし、従来の枠組みにとらわれない挑戦的・萌芽的研究を機動的に支援するものです。特に、比較的初期段階にある研究課題に対して柔軟に支援を行い、研究者が新たなテーマに取り組む機会を広げることを重視しています。あわせて、3大学の連携を通じて新規共同研究の創出を図ることを目的としています。

3. 第2回チャレンジファンドについて

実施形態

- 3大学合同で実施

研究費配分対象者（代表研究者、共同代表研究者）

○ 代表研究者

- 学位取得後 10 年以内 または博士課程の大学院生（年齢不問）
- 医学研究院（科）・医学医療系・附属病院に所属する教員、ポスドク、研究員、医局員、博士課程大学院生（MD、non-MD 不問）

○ 共同代表研究者

- 学位取得後 10 年以内 または博士課程の大学院生（年齢不問）
- 医学分野に限らず、他分野の研究院（科）・系に所属する教員、ポスドク、研究員、医局員、博士課程大学院生（MD、non-MD 不問）

- 大学院生が申請する場合（代表研究者・共同代表研究者共通）

- 以下のいずれかを満たすこと
 - 来年度も本学に在学予定の大学院生の場合：指導教員の許可を得て、「参加承諾書（来年度在籍者用）」を提出すること
 - 今年度中に学位取得見込みの大学院生（卒業予定者）の場合：学位取得後を含め、支援期間中に所属大学において研究活動を継続する予定であることとし、指導教員および所属先の診療科長（または講座主任・研究室主任）の許可を得て、「参加承諾書（卒業予定者用）」および「研究継続に関する誓約書（卒業予定者用）」を提出すること
 - ◇ 参加承諾書（卒業予定者用）には、学位取得後も支援期間中は所属先（診療科・研究室等）に医員・特任研究員・特任研究生等の身分で在籍し、研究活動を継続する見込みであることについて、指導教員および診療科長（または講座主任・研究室主任）の確認・承諾を要する（指導教員と診療科長・講座主任等が同一人物の場合は、連署ではなく単独の署名で足りる）
 - ◇ 研究継続に関する誓約書（卒業予定者用）には、申請者本人が学位取得後も研究活動を継続する意思があること等について、本人の誓約を要する

注 1：第 1 回チャレンジファンド採択者は応募可能

注 2：医学系研究支援プログラムで次世代 PI に選定された研究者は、代表研究者または共同代表研究者として応募することはできない。ただし、協力研究者としての参画は可

公募要件

「大学横断型共同研究」とは、研究代表者と共同代表研究者が筑波大学・千葉大学・群馬大学のうち異なる大学に所属して行う共同研究を指し、「学内共同研究」とは、研究代表者と共同代表研究者が同一大学（筑波大学、千葉大学、群馬大学のいずれか）内の異なる研究グループに所属して行う共同研究を指す。

- 対象研究分野：医学系研究（含む異分野融合研究）
- 研究形態：
 - (1) 大学横断型共同研究（3 大学間。他の研究機関との共同研究を含む）
 - (2) 大学横断型共同研究（2 大学間。他の研究機関との共同研究を含む）
 - (3) 学内共同研究（他の研究機関との共同研究を含む）
- 研究代表者および共同代表研究者に対し、助言や技術的支援等を行う 3 大学内のメンター・シニア研究者は、協力研究者として参画すること
- 他の研究機関との共同研究を実施する場合、他の研究機関の研究者（代表者）を協力研究者とすること
- 得られた研究成果については、論文発表および学会発表を積極的に行うこと。その際、以下の謝辞を必ず記載すること
 - This research was supported by AMED under Grant Number JP256f0137008.
 - 本研究は AMED の課題管理番号 JP256f0137008 の支援を受けた。
- 支援期間終了時に開催する成果発表会において、口頭発表またはポスター発表を行うこと
- 研究費の執行状況については、事務局の求めに応じて適宜報告すること

支援額、採択件数

- 支援総額上限：1100 万円/大学(筑波大学、千葉大学、群馬大学) 3 大学合計で 3300 万円
- 1 件あたりの支援額（研究形態別）：

- 大学横断型共同研究（3大学間、または3大学間＋他の研究機関との共同研究）：300万円（3大学で均等配分）
- 大学横断型共同研究（2大学間、または2大学間＋他の研究機関との共同研究）：200万円（2大学で均等配分）
- 学内共同研究（＋他の研究機関との共同研究）：100万円
- 採択件数：各大学の支援総額上限は1,100万円とし、1件当たり各大学への配分額を100万円とすることから、各大学11件程度の採択を想定する。

注：AMED 補助金事業のため、3大学以外の研究機関への研究費の配分はできない

注：ここでいう「各大学11件程度」とは、各大学が負担する予算消化件数の目安であり、採択される研究課題の総数を示すものではない。研究形態（3大学型／2大学型／学内型）の構成比によって、採択される課題の総数は変動する。

注：採択は選考の得点順に決定するが、当該課題の採択に必要な配分額が関係大学いずれかの予算残額を超える場合は、得点順位にかかわらず不採択とし、次点の課題について同様に判定する（例：予算残額が下表の状態で、A大学を含む課題はA大学の予算消化後は不採択となる一方、B・C大学のみの課題はB・C大学に予算残額がある限り採択され得る）。

A大学	B大学	C大学
1,100万円	900万円	900万円

支援期間

2026年10月1日～2028年3月末

研究費使途

- 応募時に、本支援により配分を希望する研究費の使途について記載すること。なお、計画変更に伴う使途の変更は可能
- 提案した研究内容に係る使途であれば原則として制限はない（例：物品購入〔購入物品は大学の備品となる〕、旅費、学会参加費、データ取得費、論文掲載料（APC）等）。ただし、各大学の会計規則その他関係規程に従い適切に使用すること
- PC等の汎用性の高い機器については、AMEDへの説明を求められる可能性があるため、購入を希望する場合は事前に事務局へ相談すること。特に複数台を購入する場合は、購入の必要性について説明を求める場合がある。また、当該研究に直接関連する用途に限定して使用すること

選考基準・選考方法

- 選考基準
 - ✓ 挑戦性・独創性（従来の枠組みにとらわれない新規性のある研究であるか）
 - ✓ 萌芽性（初期段階にあり発展可能性を有する研究であるか）

- ✓ 学際性（異分野横断的な視点・連携があるか）
- ✓ 共同研究発展性（共同研究としての発展性）

注：7月開催のマッチングイベントにて共同研究体制を構築し、本ファンドに応募した場合、選考時に加点評価を行う

- 選考方法
 - 書類選考
 - 選考者：ToRA-SEED 事業推進担当の教員

スケジュール

- 2026年8月1日 公募開始
- 2026年9月4日 応募締切
- 2026年9月25日頃 選考結果通知
- 2026年10月1日 支援開始
- 2028年3月頃 成果発表会

提出書類

- 申請書
- 代表研究者・共同代表研究者 CV（Web上にCV情報が無い場合、書式自由）
- 大学院生が申請する場合（代表研究者・共同代表研究者共通）
 - 来年度も本学に在学予定の大学院生の場合：参加承諾書（来年度在籍者用）
 - 今年度中に学位取得見込みの大学院生（卒業予定者）の場合：参加承諾書（卒業予定者用）および研究継続に関する誓約書（卒業予定者用）

問い合わせ先、公募応募先

ToRA-SEED チャレンジファンド担当

E-mail: tora-seed@gwe.md.tsukuba.ac.jp